

令和 5 年度静教研理科教育研究部第 3 回委員研修会

資料集

令和 6 年 2 月 13 日(火) 15:30

Zoom開催

全小理 神奈川大会 報告

初島小学校 関口 直

1 開催日 令和5年11月16日(木)・17日(金)

2 会場 関東学院大学関内キャンパス

3 総会

挨拶 全国小学校理科研究協議会会長 杉山勇

全国小学校理科研究大会神奈川大会実行委員長 角井治朗

来賓 文科省、神奈川県教委など

大会宣言 別紙

表彰・感謝状贈呈

次期開催県代表挨拶(広島県)

4 全体会

<基調提案>

(1)大会主題 「グローバル社会を生き抜く心豊かな人間を育てる理科教育」

(2)神奈川大会研修主題

「自然に親しみ、共に豊かな学びを創り続ける子どもの育成」

VUCAの時代と言われる予測困難な時代の中、最適解を求めるには科学的に追究する資質・能力を必要としているという押さえのもと、他者と協働して、よりよい未来を創り出していくために学び続ける子どもの姿をめざし、研究主題を設定したことなどの説明があった。

→『自然に親しむ』とは

子どもが関心や意欲をもって、自然に関わりながら問題解決していくことであり、特に「問題を見いだす」場面や「観察・実験」の場面では、子どもが体験活動を通して主体的に学んでいく姿を目指す。

→『共に豊かな学びを創り続ける』とは

「豊かな自然観」や「子どものよさや可能性」をもとに、子ども自らが自然の事物・現象の中から問題を見いだし、主体的に解決していく過程そのものである。子どもたちが将来に渡って「学び続ける姿」へつなげる。

(3)サブテーマ

～問題を見いだし、つなげ、理科を学ぶ意義を考える、令和時代の問題解決～
発表校3校がそれぞれ大事にしていることを一つにした。

○問題を見いだし→下沼部小

問題解決の原動力は、子どもが「問題を見いだす」ことから始まる。

○つなげ(つながり)→井土ヶ谷小

子ども同士が日常的に、あるいは意図的につながるようにし、既習の学習や生活とつなげることを研究、実践を展開する。

○理科を学ぶ意義→立野小

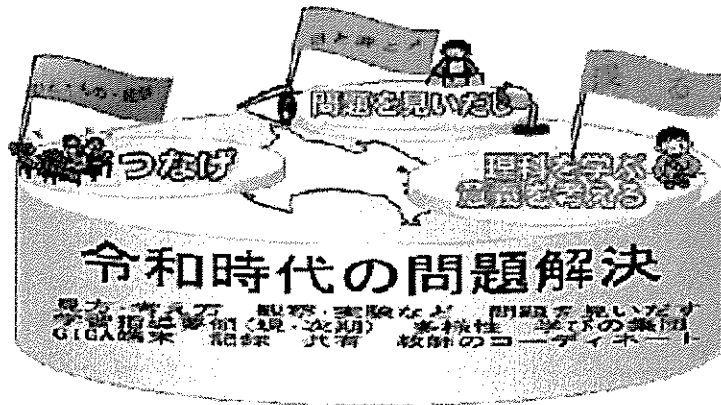
改めて理科を学ぶ意義は何かを子どもとともに追い求める。自然との豊かな関わり、自らの考えをより妥当なものに更新していく、新たな価値の創造を研究、実践を展開する。

○令和時代の問題解決

要素 理科の見方・考え方を働かせていること 次期学習指導要領に向けて
GIGA端末・ICTの日常的な活用 指導と評価 記録と共有の工夫
観察、実験などの体験の再確認 メタ認知 社愛情動的コンピテンシー
学びの集団の価値 教師のコーディネート・ファシリテート 自己決定
教科分担制・理科専科の拡大 IRT



オール神奈川の理科
で大切にしたいこと



<記念講演>

演題「はやぶさ2の挑戦：未来へ立ち向かったチームワーク」

講師 津田雄一先生

国立研究開発法人 JAXA宇宙研究所 教授

はやぶさ2拡張ミッションチームリーダー

津田先生からは、はやぶさ2がどのようにミッションを達成してきたのかを実際にチームリーダーとして関わった具体的事例をもとにお話しいただいた。改めて、チームとして結束して臨むことの大切さ、運などを味方につけながらも、何度も趣味レーションを繰り返すなど舞台裏での苦労話などお聴し、学校現場においても、校長を中心に課題に向かって取り組む上で、とても示唆に富むお話であった。

第 56 回 全国小学校理科研究協議会研究大会 神奈川大会 概要

◇期 日 令和5年11月16日(木)・17日(金)

◇大会主題 「グローバル社会を生き抜く心豊かな人間を育てる理科教育」

◇神奈川大会研究主題

「自然に親しみ、共に豊かな学びを創り続ける子どもの育成」
～問題を見だし、つなげ、理科を学ぶ意義を考える、令和時代の問題解決～

研究主題について

生成 AI が一気に一般化している令和5年は、不安定な変動性、不確実性、複雑性、曖昧性といった先が不明確で予測ができないVUCA時代であり、最適解を科学的に追究する資質・能力を必要としている。Society5.0 に向けた人材育成に係る大臣懇談会で発信された、「科学的に思考・吟味し活用する力」に加え、対話する力や価値を見付け生み出す感性と力、好奇心・探求力は、理科の学習を通して育成できるものである。自然を対象とする理科の学習を通して、「他者と協働してよりよい未来を創りだしていくために学び続ける」子どもの姿を求めて、研究、実践をしている。

ここで「自然に親しむ」とは、子どもが関心や意欲をもって、自然に関わりながら問題解決していくことであり、特に「問題を見だし」場面や「観察・実験」の場面では、子どもが体験活動を通して主体的に学んでいく姿を目指している。

また「共に豊かな学びを創り続ける」とは、「豊かな自然観」や「子どものよさや可能性」をもとに、子ども自らが自然の事物・現象の中から問題を見だし、主体的に解決していく過程そのものである。子どもたちが将来に渡って学び続ける姿へとつなげたいと考えている。

- ◇主 催 全国小学校理科研究協議会、神奈川県小学校教育研究会理科部会
横浜市小学校教育研究会理科研究部会、川崎市立小学校理科研究会
- ◇後 援 文部科学省、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会
全国連合小学校長会、神奈川県公立小学校長会、神奈川県小学校教育研究会
横浜市立小学校長会、川崎市立小学校長会、横浜市小学校教育研究会
川崎市小学校教育研究会、全国中学校理科教育研究会
日本初等理科教育研究会、(公財)ソニー教育財団・ソニー科学教育研究会

第1日目 令和5年11月16日(木)

全小理理事会、総会・研究全体会・講演会・レセプション

<会 場> 関東学院大学 横浜・関内キャンパス テンネー記念ホール

<時 程>

	9:30	10:00	12:00	12:30	13:00	14:00	15:10	16:15	16:45	17:00	19:00
受付	全小理 理事会	一般受付 昼食	総会 表彰式	研究全体会 基調提案 指導講話	記念講演	レセプション					

第2日目 令和5年11月17日(金)

<会 場> 横浜市立井土ヶ谷小学校 横浜市立立野小学校 川崎市立下沼部小学校

<時 程>

	8:30	9:00	9:20	10:05	10:10	10:55	11:15	12:25	13:15	14:15	14:20	15:20	15:35	16:35	16:45
受付	オリエン テーション	授業Ⅰ	授業Ⅱ	移動	授業分科会 会場校提案	昼食	分科会Ⅰ 地区提案	分科会Ⅱ 地区提案	移動	指導講話	閉会				

大会宣言

全国小学校理科研究協議会は、発足以来、全国各地の小学校における、実践的な研究の交流を通して会員相互が高め合い、望ましい理科教育の在り方を追究してきた。

ここに第56回全国小学校理科研究協議会研究大会・神奈川大会を開催するにあたり、大会主題を「グローバル社会を生き抜く 心豊かな人間を育てる理科教育」と設定し、本大会開催の趣旨と全会員の総意に基づき、次のように宣言する。

記

- 1 本会は、全国都道府県の研究団体並びに行政機関と協力し、緊密な連携のもとに望ましい小学校理科教育の創造に努める。
- 2 本会は、「グローバル社会」といわれる現代社会において自ら生き抜く力を身に付け、それを活用し、心豊かに生きる人間の育成を目指す。そのために、理科の見方・考え方を働かせ、科学的に問題を解決する学習活動を重視する。また、子どもの発達に即し、自然事象の概念や性質・規則性の理解、観察・実験等の技能を身に付け、問題解決の力を養い、自然を大切にし、学んだことを日常生活などに生かそうとするとともに根拠に基づき判断する態度、自然を愛する心情を醸成する楽しく充実した学習活動の実現に努める。
- 3 本会は、これまで積み重ねてきた研究成果と学習指導要領の趣旨を受け止め、神奈川大会の研究主題を「自然に親しみ、共に豊かな学びを創り続ける子どもの育成 ～問題を見いだし、つなげ、理科を学び意義を考える。令和時代の問題解決～」と設定する。学習指導要領の趣旨が浸透するとともに、1人1台端末が普及し、多様性が求められる等、大きな変化に直面する中、「問題の見いだし」「つながり」「理科を学ぶ意義」を大切にした授業づくりを通して、理科で培う資質・能力の育成に努める。
- 4 本会は、教育課程の基準に即して、子ども一人一人の学習活動が充実できるように、施設・設備や教材・教具等の改善・充実を進め、学習環境の整備に努める。そのために、理科教育設備基準による理科設備整備費及び小額設備費の活用を促進する。また、理科教育の充実のため、人的・物的支援を引き続き強く要望していく。
- 5 本会会員は、基礎基本の定着と確かな学力の育成を目指し、常に研究と修養に励み、実践的な研究を通して現職教育の充実を図り、教師としての資質や能力の向上に努める。

令和5年11月16日

第56回 全国小学校理科研究協議会研究大会・神奈川大会

令和6年度 夏季研究大会の計画概要 基準日8月7日(水)・8日(木)

令 6.1.18 現在

研究部		開催方法	開催日・期間	会場	開催地区
1	国 語	集合開催	8 / 7 (水) 終日	伊豆の国市立韭山中学校	三島・田方
2	書 写	集合開催	8 / 7 (水) 午後	磐田市福田中央交流センター	磐周・湖西
3	社 会	リアルタイム配信	8 / 7 (水) 午前	沼津市立第一中学校 (配信会場)	駿東・沼津
4	数 学	リアルタイム配信	8 / 7 (水) 午後	御殿場市立朝日小学校 (配信会場)	駿東・沼津
5	理 科	集合開催	8 / 7 (水) 終日	富士市交流プラザ 他	富士
6	音 楽	集合開催	8 / 8 (木) 終日	磐田市民文化会館 かたりあ	磐周・湖西
7	美 術	集合開催・オンデマンド配信	8 / 8 (木) 終日	藤枝市民ホール おかべ	志太
8	保健体育	集合開催	8 / 8 (木) 終日	韭山文化センター 他	三島・田方
9	技術・家庭	集合開催	8 / 8 (木) 午前	静岡市立城内中学校	静岡
10	英 語	集合開催 (志太地区のみ)・リアルタイム配信・オンデマンド配信	8 / 8 (木) 午後	島田市金谷生きがいセンター	志太
11	生活・総合	リアルタイム・オンデマンド配信	8 / 7 (水) 午後	静岡市立葵小学校 (配信会場)	静岡
12	道 徳	オンデマンド配信	8/16(金)～23(金)	沼津教育会館 (8/7 録画会場)	駿東・沼津
13	特別活動	集合開催・リアルタイム配信	8 / 7 (水) 午後	掛川市立中央小学校	小笠・榛原
14	学校保健	集合開催 (静岡地区のみ) リアルタイム配信	8 / 7 (水) 午前	静岡市教育センター	静岡
15	学校図書館	リアルタイム配信	8 / 7 (水) 午後	富士教育会館 (配信会場)	富士
16	情 報	集合開催・リアルタイム配信	8 / 8 (木) 終日	静岡県教育会館	静岡
17	特別支援	集合開催	8 / 8 (木) 午後	浜松市福祉交流センター	磐周・湖西
18	生徒指導	集合開催 オンデマンド配信	8 / 7 (水) 終日 8/10(土)～ 23(金)	富士市立高等学校	富士
19	学校給食	オンデマンド配信	8/7(水)～13(火)	未定 (録画会場)	小笠・榛原
20	事 務	集合開催 (小笠・榛原地区のみ) リアルタイム配信	8 / 8 (木) 午後	牧之原市相良総合センター 「い〜ら」	小笠・榛原
21	小規模校	オンデマンド配信	8/7(水)～8(木)	未定 (録画会場)	賀茂・東豆

※上記は令和6年1月18日の時点での各研究部の予定であり、今後変更する場合があります。

◆令和6年度の夏季研究大会について

- ・上位の研究大会を兼ねた開催の予定はありません。

◆令和7年度の夏季研究大会について

- ・開催基準日は8月6日(水)、7日(木)です。
- ・数学教育研究部は、関東甲信静大会を兼ねて、8月20日(水)に開催します。
- ・学校図書館研究部は、東海地区大会を兼ねて開催します。

令和6～10年度 夏季研究大会の開催担当地域

令和6年1月23日(火)現在

研究部	令和6年度				令和7年度				令和8年度				令和9年度				令和10年度			
	8/7(水)・8(木)				8/6(水)・7(木)				8/5(水)・6(木)				8/ ()・ ()				8/ ()・ ()			
1 国語	東	三・田	東②	10	静	静岡	静	4	東	賀・東	東①	15	西	小・榛	西②	9	西	志太	西①	6
2 書写	西	磐・湖	西③	6	東	駿・沼	東③	6	静	静岡	静	4	西	小・榛	西②	7	東	富士	東④	7
3 社会	東	駿・沼	東③	6	静	静岡	静	4	西	磐・湖	西③	9	東	三・田	東②	14	西	志太	西①	8
4 数学	東	駿・沼	東③	6	東	富士	東④	10	西	小・榛	西②	7	西	磐・湖	西③	6	静	静岡	静	4
5 理科	東	富士	東④	14	静	静岡	静	4	東	賀・東	東①	10	東	駿・沼	東③	5	西	小・榛	西②	8
6 音楽	西	磐・湖	西③	10	東	駿・沼	東③	5	静	静岡	静	4	西	小・榛	西②	6	東	三・田	東②	10
7 美術	西	志太	西①	5	東	富士	東④	9	東	駿・沼	東③	5	静	静岡	静	4	西	磐・湖	西③	6
8 保体	東	三・田	東②	15	東	富士	東④	8	静	静岡	静	4	西	志太	西①	7	東	駿・沼	東③	5
9 技・家	静	静岡	静	4	西	磐・湖	西③	12	西	志太	西①	8	東	賀・東	東①	18	東	富士	東④	7
10 英語	西	志太	西①	7	東	三・田	東②	9	静	静岡	静	5	西	磐・湖	西③	7	東	駿・沼	東③	5
11 生活総合	静	静岡	静	4	東	賀・東	東①	14	西	志太	西①	8	西	磐・湖	西③	10	東	駿・沼	東③	6
12 道徳	東	駿・沼	東③	6	静	静岡	静	4	西	小・榛	西②	7	東	富士	東④	7	西	志太	西①	6
13 特活	西	小・榛	西②	15	東	駿・沼	東③	5	西	磐・湖	西③	7	静	静岡	静	4	東	富士	東④	6
14 学校保健	静	静岡	静	4	西	磐・湖	西③	16	東	富士	東④	7	西	志太	西①	5	東	賀・東	東①	20
15 図書館	東	富士	東④	6	西	小・榛	西②	8	東	駿・沼	東③	6	西	志太	西①	5	静	静岡	静	4
16 情報	静	静岡	静	4	東	富士	東④	6	西	磐・湖	西③	5	東	駿・沼	東③	5	西	小・榛	西②	5
17 特別支援	西	磐・湖	西③	5	東	三・田	東②	8	西	小・榛	西②	6	東	賀・東	東①	14	静	静岡	静	5
18 生徒指導	東	富士	東④	7	西	志太	西①	10	東	駿・沼	東③	5	静	静岡	静	4	西	磐・湖	西③	6
19 学校給食	西	小・榛	西②	14	西	志太	西①	9	東	三・田	東②	8	東	富士	東④	7	静	静岡	静	4
20 事務	西	小・榛	西②	12	西	志太	西①	6	静	静岡	静	4	東	駿・沼	東③	6	西	磐・湖	西③	8
21 小規模	東	賀・東	東①	15	西	小・榛	西②	16	西	志太	西①	6	東	駿・沼	東③	5	静	静岡	静	5

東① 1～2	賀・東	東①	1	9	東	賀・東	2	10	東	賀・東	2	7	東	賀・東	2	9	東	賀・東	1	8
東② 1～2	三・田	田方	2			三・田	2			三・田	1			三・田	1					
東③ 3～4	駿・沼	沼津	3			駿・沼	3			駿・沼	3			駿・沼	4					
東④ 2～3	富士		3			富士	4			富士	1			富士	2					
静 4～5	静岡		4	静	静岡	4	静	静岡	5	静	静岡	3	静	静岡	5					
西① 2～3	志太		2	8	西	志太	3	7	西	志太	3	9	西	志太	3	9	西	志太	3	8
西② 2～3	小・榛	榛原	3			小・榛	2			小・榛	3			小・榛	3					
西③ 2～3	磐・湖	湖西	3			磐・湖	2			磐・湖	3			磐・湖	3					

<p>地域ローテーションの基本</p> <p>◆静岡は、4年の間を空けて、5年に1回開催。間が3年(5年間に2回開催)は作らない。</p> <p>◆静岡・静岡西は、6～8年の間を空けることが基本。やむを得ず間が5年となる場合もある。</p>	<p>数学教育研究部</p> <p>兼:関東甲信静大会</p> <p>※8月20日(水)に開催。</p>	<p>英語教育研究部</p> <p>兼:全国大会</p> <p>※10 or 11月にグランシップで開催を予定</p>	<p>道徳教育研究部</p> <p>兼:中部地区大会</p> <p>※道徳部の中部地区大会ローテでは静岡市が開催担当になるが、令和12年度に本県に充てられている全国大会を静岡市が開催を担当するのが適切と考え、ローテを変更して、令和9年度は東部(富士地区)開催とした。</p>	<p>技術家庭科教育研究部</p> <p>兼:東海大会</p> <p>※開催地区の変更も含めて検討中</p>
	<p>学校図書館研究部</p> <p>兼:東海地区大会</p> <p>※8月基準日に開催を予定</p>	<p>特別支援教育研究部</p> <p>兼:東海・北陸地区大会</p> <p>※会場をグランシップ(7/30・31)とするため、静岡地区の負担等を考え、R9とR10の担当地域を入れ替えた。</p>		

令和6年度 研究部予算の立案、経費の支出にあたって

1. 研究部予算の立案について

- (1) 前年度事業の成果・課題に基づいて、予算を編成する。研究大会の開催方法が変わることもあるため、次年度の研究大会役員等からの要望も聞き、具体的に作成したい。
- (2) 科目間の予算流用は「30%以内」を原則としている。昨年度の決算及び本年度予算の執行状況を参照し、適正な配分となるように予算案を作成する。

2. 研究大会 (A)

- (1) 大会主要役員の旅費
 - ・令和5年度と同様の手順で、各研究部で旅費額を把握し、研究部費から支出する。不足の場合は研究部からの求めに応じて本部会計から補助する。
- (2) 会場借料の補助
 - ・会場借料が発生する研究部には、求めに応じて研究部費とは別に5万円を補助する。
- (3) 講師謝金
 - ・講師謝金の上限額を県外講師は8万円、県内講師は5万円（いずれも税込み）とする。
 - ・講師謝金は「本研究会の内規で、上限が税込みで8万円（県内は5万円）となっている。交通費は別途で実費を支払う。」という言い方で、先方に理解してもらう。
 - ・交通費は実費を支払う。（謝礼分を上乗せして支払うと、報酬として課税対象になる。）
- (4) 実践発表者・助言者（会員）の資料代
 - ・「資料代」「原稿作成費」等の名前に変えての発表者・助言者に対する支払いは行わない。
 - ・発表や助言に必要な書籍等を購入した場合は、「資料代」として5千円を上限に実費を支払う。（その場合は書店等の領収書が必要）
- (5) 会員以外の助言者への謝金
 - ・会員以外の助言者の謝金の上限額は1万円とする。交通費は別途で実費を支払う。
 - ・指導主事には謝金を支払わない。ただし、2千円を上限に手土産の用意は可とする。（その場合は店の領収書が必要）
- (6) 昼食費
 - ・昼食の用意の対象は以下の来賓・講師・助言者で、一人1,000円以内とする。
来賓…開催地域の教育長、講師…講演会の講師・助手 ※昼食が必要な場合のみ
助言者…会員・会員外を問わず分科会の助言者全員

3. 調査研究活動 (B)

- (1) P4②～④に係る費用（地区大会・委員研修会の講演・上位団体の研究大会参加等）
 - ・研究部費から支出する
- (4) 児童・生徒が参加するコンクール・審査会・定着度調査等の事業に係る費用
 - ・研究部費からは支出しない。申請書を提出し、「調査研究活動費」として本部会計より支給する。支給された研究部は、年度末に決算報告を行う。

4. 研究成果刊行 (C)

- (1) 静教研だより、研究冊子
 - ・執筆者への執筆料は支払わない。ただし、執筆の資料となる書籍等を購入した場合は、5千円を上限に実費を支払う。（書店等の領収書が必要）
- (2) 研究部報、実践集録等
 - ・対応はすべて同上。

5. 上位団体への負担金、研究会への参加費

- (1) 各研究部が納める上位団体への負担金は、令和6年度より静教研事務局で納入するため、各研究部へ請求があったものは、静教研事務局へ送付する。
- (2) 上位団体が主催する大会等へ参加する場合は、旅費・参加費は研究部費から支出してもよいが研究部予算に支障の生じないよう、十分に検討する。当該研究部の地域校長代表が、参加予定者の所属校の校長に事前に了解を取ってから、文書で正式に参加を依頼する。その際、旅費の支出元の確認を忘れないこと。

令和 5 年度 理科教育 研究部 事業報告書

静教研三大事業

研究大会	開催方法	集合・リアルタイム配信				
	日 時	令和 5 年 8 月 2 日 (水) 9 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0				
	会 場	焼津市焼津文化会館 大ホール・小ホール				
	参加者数	3 1 7 名	分科会数	6 分科会	発表者数	6 名
内 容	<p>・全体会 講演 演題「博物館と学校教育」 講師 渋川浩一氏 (ふじのくに地球環境史ミュージアム学芸部長)</p> <p>・分科会 ○第 1 分科会：小学校「生物とその環境：既習の内容や生活経験を元に根拠のある予想を立て、主体的に問題に取り組む授業づくり」焼津市立小川小学校 大倉弘美 ○第 2 分科会：小学校「物質とエネルギー：児童の主体的な学びを促す授業づくり」掛川市立城北小学校 内藤一紀 ○第 3 分科会：小学校「地球と宇宙：子供にとって、ワクワクするような、ストーリー性のある単元デザイン」島田市立六合東小学校 鈴木拓実 ○第 4 分科会：中学校「教育課程・学習指導：生徒が主体的に考えることができる単元構想の工夫」藤枝市立高洲中学校 伊藤泰希 ○第 5 分科会：中学校「観察・実験：理科における見方・考え方が成長する生徒の育成」牧之原市立榛原中学校 松浦泰彦 ○第 6 分科会：中学校「学習評価：評価規準を生徒に示すことで「主体的に授業に取り組む態度」は高まるか」島田市立島田第一中学校 藤田一克</p>					
調査研究活動	事業名	実施内容 (実施日・会場・内容等)			参加者・人数等	
	(1) 理科教育研究会委員研修会 (2) 研究活動	第 1 回 (5 月 13 日) : 県教育会館 : 部長講話、役員選出・事業計画等審議 第 2 回 (10 月 13 日) : Zoom 開催 : 部長講話、事業経過・次年度事業検討 第 3 回 (2 月 17 日) : Zoom 開催 : 部長講話、総括・次年度計画の具体案 志太支部 : 生物、天体、学習指導、学習評価 小笠支部 : エネルギー、榛原支部 : 観察実験			27 名	
研究成果刊行	刊行物名	内 容			刊行部数・頒布先・方法等	
	(1) 研究集録	夏季研究大会のまとめ：			静教研HP掲載	

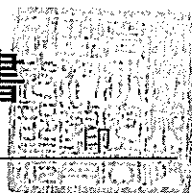
本年度の成果と課題

<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合開催とリアルタイム配信のハイブリッド方式で多くの会員の参加により、分科会発表に加え講演会を実施できた。 ・300人を超える会員の参加により、研究活動を深めることができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・配信の不具合があったため、リアルタイム配信参加者が一部参加できなかった。 ・会場の関係もあり、質疑のみで応答がなかったため会員相互の交流がとりづらかった。

令和5年度 理科教育研究部

決算書

部長 藁科 彰良



収入の部

科 目	予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	備 考
研 究 部 費	660,000	660,000	
雑 収 入	0	0	
計	660,000	660,000	

支出の部

科 目	予 算 額 (円)	決 算 額 (円)	備 考
A 研究大会費	400,000	365,074	1 謝 金 50,000 2 旅 費 52,430 3 借料・損料 214,710 4 資 料 費 0 5 通信運搬費 2,640 6 賃 金 0 7 需 要 費 45,294
B 調査研究費	190,000	101,900	1 謝 金 0 2 旅 費 101,900 3 借料・損料 0 4 資 料 費 0 5 通信運搬費 0 6 賃 金 0 7 需 要 費 0
C 研究成果 刊行費	0	0	1 旅 費 0 2 借料・損料 0 3 資 料 費 0 4 通信運搬費 0 5 賃 金 0 6 需 要 費 0
D 研究図書購入費			
II 三大事業以外の経費	70,000	66,628	
計	660,000	533,602	

翌年度繰越金 0 円

静教研事務局へ返納金 126,398 円

令和5年度 研究部負担金 決算書

研究部名 (理科教育研究部)

研究部長 藁科 彰良



科 目	予 算 額	決 算 額	負担金・会費名	
負 担 金	負担金	20,000	20,000	全国小学校理科研究協議会 会費
	負担金	15,000	15,000	全国中学校理科教育研究会 分担金
	負担金	10,000	10,000	中部七県中学校理科教育研 究会負担金
	負担金	56,000	56,000	静岡県理科教育協議会会費
	負担金			
	計			
総 計	101,000	101,000		

翌年度繰越金 0円

静教研事務局へ返納金 0円

令和6年度 理科教育 研究部 事業計画書(案)

静教研三大事業

研 究 大 会	開催方法	集合開催、オンデマンド開催			
	日時	令和6年8月7日(水) 9時30分～15時00分			
	会場	富士市交流プラザ、富士駅北まちづくりセンター			
	参加者数	200名	分科会数	6分科会	実践発表者数 6名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会 講演「富士火山について」富士山世界遺産センター 小林 淳 教授 ・分科会 小学校3分科会 中学校3分科会 ・全体会 ・講演会 ・分科会 等の概要			
調 査 研 究 活 動	事業名	実施内容(実施日・会場・内容等)		参加者・人数等	
	静岡県理科教育協議会	6月	会場未定 静岡県理科協議会運営内容検討	部長副部長幹事	
	全小理理事会	6月	東京 全小理活動内容	副部長	
	全中理理事会・中部7県 会議	8月	山梨 全中理活動内容検討	部長	
	学生科学賞審査会	10月	県教育総合センター 論文審査		
	鈴木賞審査会	10月	県庁 論文審査		
	全小理大会 山崎賞審査会	11月 1月	広島 全小理大会 県庁 論文審査		
研 究 成 果 刊 行	刊行物名	内容		刊行部数・頒布先・方法等	
		夏季研究大会のまとめ		静教研HP掲載	

研究部内の会議(研究部委員研修会)等

予定日時	会場・方法	事業計画の概要	参加予定人数
第1回(5月10日)	県教育会館集合開催	第1回(5月13日): 県教育会館: 部長講話、役員選出・事業計画等審議	27名
第2回(10月17日)	Zoom開催	部長講話、事業経過・次年度事業検討	
第3回(2月18日)	Zoom開催	部長講話、総括・次年度計画の具体案	

令和6年度 理科教育 研究部 予算書(案)

科 目		予 算 額	積 算 内 容	
A 研究大会費	1 謝金	50,000	講 師	50000円× 1 人 = 50000
	2 旅費	50,000	講 師	10000 円× 1 人 = 10000
			役員	40000円
	3 借料・損料	100,000	会場借料	
	4 資料費	0		
	5 通信運搬費	0		
	6 賃金	0		
	7 需用費	200,000	消耗品等	
小 計	400,000			
B 調査研究費	1 謝金	0	講 師	円× 人 =
	2 旅費	100,000	全小理:理事会10000円、大会一泊45000円 広島県	
			全中理:理事会・大会一泊22500円×2発表者 山梨県	
	3 借料・損料	5,000	会場借料	
	4 資料費	0		
	5 通信運搬費	0		
	6 賃金	0		
	7 需用費	70,000	消耗品等	
小 計	175,000			
C 研究成果刊行費	1 旅費	0	編集委員	円× 人 =
			役員等	
	2 借料・損料	0	会場借料	
	3 資料費	0		
	4 通信運搬費	0		
	5 賃金	0	消耗品等	
	6 需用費	0		
小 計	0			
D 研究用図書購入費				
E A+B+C	575,000			
F 研究部内の会議費等	65,000	学生科学賞表彰状65000円		
G 総 計	640,000			

理科教育研究部組織輪番表

静岡研役員

年度		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
部長(校長)		静岡東	静岡	静岡	静岡西	静岡西	静岡東	静岡東	静岡	静岡
副部長(校長)		静岡東 1 静岡 1 静岡西 1 (部長とは別の者にする)								
事務長(教諭)		部長が指名する								
幹事	校長	静岡東 1 静岡 1 静岡西 1 (副部長とは別の者にする)								
	教諭	静岡東 1 静岡 1 静岡西 1								
編集主任		事務長が兼任する								
会計主任		部長が指名する								
会計監査		静岡東 1 静岡 1 静岡西 1 (昨年度の副部長が務める)								
夏季 大会	年度	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	実行委員長 (校長)	磐・湖	志太	富士	静岡	賀・東	駿・沼	小・榛		静岡
	事務局長	夏季大会実行委員長が指名する								
	会計主任	夏季大会実行委員長が指名する								

全国等

全小理	理事(校長)	※理事(校長)は、部長、副部長、幹事で調整する。			
発表	R1	R4	R7		
	三島 3学年	三島 4学年	6学年		
	岐阜県	香川県	愛知県		

全中理	理事(校長)	※理事(校長)は、部長、副部長、幹事で調整する。			
	理事(事務長)				
発表	R1	R3	R6	R9	※R6・R7、理事(校長)は全中理役員を務める。
	三島 環境	静岡 環境	志太 学習	賀・東 教育課程	
	秋田県	広島県	山梨県	青森県	

中部七県中理	役員(校長)	※役員(校長)は、全中理理事(校長)が兼任する。			
役員	R4	R5	R6	R7	※R6・R7、会長は、全中理役員を兼任する。
	副会長	副会長	会長	会長	

日本理科教育学会	東海大会	※事務局は静岡大学が務める。			
発表	R6	R10	R14	R18	※静岡大学が会場の年度に発表する。 ※夏季研究大会の発表者の中から小学校1人、中学校1人を選出する。
	静東	静西			

外部団体役員

		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
県理科教育協議会	副会長 (部長)	静東	静岡	静岡	静西	静岡	静岡	静岡	静岡	静岡	
		浜松									
	常任理事 (副部長)	静岡	静岡	静岡	静岡	静岡	静岡	静岡	静岡	静岡	
		静岡	静岡	静岡	静岡	静岡	静岡	静岡	静岡	静岡	
	(事務長)	静岡教務事務長が兼任する									
	理事 (校長幹事)	静岡1 静岡1 静岡1 (静岡教務幹事の校長が兼任する)									
理事 (教諭幹事)	静岡1 静岡1 静岡1 (静岡教務幹事の教諭が兼任する)										

三賞審査員

		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
学生 科学賞	委員長 (部長)	静岡東	静岡	静岡	静岡西	静岡西	静岡東	静岡東	静岡	静岡
	委員 (副部長)	静岡	静岡西	静岡西	静岡東	静岡東	静岡	静岡	静岡西	静岡西
		静岡西	静岡東	静岡東	静岡	静岡	静岡西	静岡西	静岡東	静岡東
	委員(浜松)	浜松								
	委員(小)	静岡東 2 静岡 1 静岡西 2 浜松 1								
委員(中)	静岡東 2 静岡 1 静岡西 2 浜松 1									

※委員(部長、副部長)は、小中の校種を問わない。

		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
山崎賞	副委員長 (副部長)	静岡東	静岡西	静岡東	静岡西	静岡東	静岡西	静岡東	静岡西	静岡東
		静岡	浜松	静岡	浜松	静岡	浜松	静岡	浜松	静岡
	委員 (教頭)	浜松 小1中1	静岡東 小1中1	静岡西 小1中1	静岡 小1中1	浜松 小1中1	静岡東 小1中1	静岡西 小1中1	静岡 小1中1	浜松 小1中1
	委員 (教諭)	静岡東 小1中1	静岡西 小1中1	静岡 小1中1	浜松 小1中1	静岡東 小1中1	静岡西 小1中1	静岡 小1中1	浜松 小1中1	静岡東 小1中1
		静岡西 小1中1	静岡 小1中1	浜松 小1中1	静岡東 小1中1	静岡西 小1中1	静岡 小1中1	浜松 小1中1	静岡東 小1中1	静岡西 小1中1
		静岡 小1中1	浜松 小1中1	静岡東 小1中1	静岡西 小1中1	静岡 小1中1	浜松 小1中1	静岡東 小1中1	静岡西 小1中1	静岡 小1中1
静岡東 小1中1		静岡西 小1中1	静岡 小1中1	浜松 小1中1	静岡東 小1中1	静岡西 小1中1	静岡 小1中1	浜松 小1中1	静岡東 小1中1	

※副委員長(副部長)は小中の校種を問わない。「静岡東&静岡西→静岡西&浜松」を1年交代。

※委員(教頭)は当該地区の副部長が選出する。「静岡東→静岡西→静岡→浜松」とする。

※委員(教諭)は当該地区の副部長が選出する。「委員(教頭)以外の2地区」の順。

		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
鈴木賞	委員 (副部長)	浜松	静岡東	静岡西	静岡	浜松	静岡東	静岡西	静岡	浜松
	委員 中学教頭	静岡東	静岡西	静岡	浜松	静岡東	静岡西	静岡	浜松	静岡東
		静岡西	静岡	浜松	静岡東	静岡西	静岡	浜松	静岡東	静岡西
	委員 中学教諭	静岡	浜松	静岡東	静岡西	静岡	浜松	静岡東	静岡西	静岡
		浜松	静岡東	静岡西	静岡	浜松	静岡東	静岡西	静岡	浜松

※委員(副部長)は、小中の校種を問わない。

「静岡東→静岡西→静岡→浜松」の順とする。

※委員(教頭)は、当該地区の副部長が選出する。

委員(副部長)のローテーションの「次」と「次々」の順とする。

※委員(教諭)は、当該地区の副部長が選出する。

委員(教頭)のローテーションの「次」と「次々」の順とする。

刊行物執筆「ときめき・かかわり・未来へつなぐ」

		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
1	賀茂			○						
2	田方					○				
3	東豆									
4	三島									
5	駿東									
6	沼津									
7	富士									
8	静岡		○					○		
9	志太	○								
10	榛原									
11	小笠				○					
12	磐周						○			
13	湖西									

※執筆は、「（静岡東→静岡西→静岡→静岡東→静岡西）→（静岡東→静岡西→静岡→静岡東→静岡西）」の順とする。

刊行物執筆「全中理：新しい理科の指導資料」

※その年度の「ときめき・かかわり・未来へつなぐ」の執筆者が中学校教員で、研究内容が秀でている場合は、同時に「全中理：新しい理科の指導資料」に推薦する。

令和6年度静岡県教育研究会理科教育研究部 委員名簿 校長等

No.	支部	支部長名	学 校 名	〒	学 校 所 在 地	学校電話	FAX	メールアドレス
1	部長	藁科 彰良	静岡市立清水袖師中学校	424-0038	静岡市清水区西久保125-1	054-366-6820	054-366-6824	shimizusodeshi-tp@shizuoka.ednet.jp
2	賀茂							
3	田方							
4	東豆							
5	三島							
6	駿東							
7	沼津							
8	富士							
9	静岡	橋口 涉	静岡市立水見色小学校	421-1313	静岡市葵区水見色1040-3	054-279-0123	054-279-0576	mizumiro-ep@shizuoka.ednet.jp
10	志太							
11	榛原							
12	小笠							
13	磐周							
14	湖西							

提出期限 4月10日(水)

令和6年度静岡県教育研究会理科教育研究部 委員名簿 教諭

No.	支部	委員名(教諭)	学 校 名	〒	学 校 所 在 地	学校電話	FAX	メールアドレス
1	事務長	中本 裕介	静岡市立観山中学校	420-0931	静岡市葵区観山8-2	054-247-4812	054-247-6815	kanzan-jo@shizuoka.ednet.jp
2	賀茂							
3	田方							
4	東豆							
5	三島							
6	駿東							
7	沼津							
8	富士							
9	静岡	中本 裕介	静岡市立観山中学校	420-0931	静岡市葵区観山8-2	054-247-4812	054-247-6815	kanzan-jo@shizuoka.ednet.jp
10	志太							
11	榛原							
12	小笠							
13	磐周							
14	湖西							

提出期限 4月10日(水)

令和6年度静岡県教育研究会理科研究部 役員一覧

役職	支部	氏名	学 校 名	〒	学 校 所 在 地	学校電話	FAX	メールアドレス
部長	静岡	藁科 彰良	静岡市立清水袖師中学校	424-0038	静岡市清水区西久保125-1	054-366-6820	054-366-6824	shimizusodeshi-ji@shizuoka.ednet.jp
	静岡							
副部長	静岡	橋口 涉	静岡市立水見色小学校	421-1313	静岡市葵区水見色1040-3	054-279-0123	054-279-0576	mizumiro-ep@shizuoka.ednet.jp
	静岡							
事務長	静岡	中本 裕介	静岡市立観山中学校	420-0931	静岡市葵区観山8-2	054-247-4812	054-247-6815	kanzan-jo@shizuoka.ednet.jp
	静岡							
幹事	静岡							
	静岡							
	静岡							
	静岡							
評議員	静岡	中本 裕介	静岡市立観山中学校	420-0931	静岡市葵区観山8-2	054-247-4812	054-247-6815	kanzan-jo@shizuoka.ednet.jp
	静岡							
編集主任	研究部長の兼任							
	事務長の兼任							
	事務長の兼任							
会計	静岡							
	志太							
会計監査	静岡	関口 直	熱海市立初島小学校	413-0004	熱海市初島219番地	0557-67-1418	0557-67-2183	h-namihe@i-younet.ne.jp
	静岡	橋口 涉	静岡市立水見色小学校	421-1313	静岡市葵区水見色1040-3	054-279-0123	054-279-0576	mizumiro-ep@shizuoka.ednet.jp
	静岡	織田 澄夫	吉田町立吉田中学校	421-0301	榛原郡吉田町住吉230	0548-32-0200	0548-32-0790	yoshicyu-kocho@ck.tnc.ne.jp
夏季大会	富士	田中文博	富士市立吉原第一中学校	417-0058	富士市永田北町7-1	0545-52-0160	0545-52-0161	
	富士							

- 1 期 日 令和6年8月7日(水)
- 2 会 場 全体会会場 富士市交流プラザ 多目的ホール (396席)
分科会会場 富士市交流プラザ・富士駅北まちづくりセンター
- 3 主 催 静岡県教育研究会・同理科教育研究部
- 4 後 援 静岡県教育委員会・富士市教育委員会(予定)・富士宮市教育委員会(予定)
- 5 研究主題 「夢と感動をもって自然と向き合い、主体的に追求し、科学の世界を広げる理科教育」
- 6 日 程

9:30 9:45 10:00 11:30 13:00 15:00

受付	全体会	記念講演	昼食・休憩 (教材紹介)	分科会 前半	分科会 後半
----	-----	------	-----------------	-----------	-----------

※小中とも3つの分科会のうち、前後半の2つの分科会に参加する。

※分科会 発表20分 グループ協議15分 意見感想5分 助言10分 ×2

- 7 記念講演 演題「富士火山に関する内容(仮)」
講師 小林 淳 教授 (富士山世界遺産センター)
- 8 分科会

分科会	研究テーマ	発表者	助言者	司会者	記録者
小学校	1 生物と環境 子どもの問題解決の力を育む授業づくり ～生物教材の関わりを通して	函南町立 桑村小学校 萩原 大夢	伊豆市立 修善寺中学校 教頭藤原かおり	伊豆の国市立 韮山中学校 酒井 佳佑	伊豆の国市立 大仁中学校 中村 光作
	2 ネットワークとエ 理科って楽しい!問題解決力を高め、 楽しく学ぶ授業づくり～各学年における 問題解決力を高めるとりくみ～	伊東市立 南小学校 岡田 由美子	熱海市立 多賀中学校 教頭 元矢 裕己	伊東市立 対島中学校 佐藤 領	熱海市立 泉中学校 下田 晃己
	3 宇宙と地球と 地域性を生かした授業づくり ～裾野の地形的特色と防災教育を 関連付けて～	裾野市立 須山小学校 不破 晃久	駿東	駿東	駿東
中学校	1 学習指導要領 理科の見方・考え方を働かせて、 内から湧き上がる問いを追究する 理科授業	東伊豆町立 稲取中学校 鈴木 美佳	東伊豆町立 熱川中学校 校長 渡辺 健幸	西伊豆町立 仁科小学校 高月 紘祐	東伊豆町立 熱川中学校 藤原 直樹
	2 観察・実験 学習者中心型授業～自分の予想をもと に観察や実験の計画を立てることが できるようになる授業づくり	三島市立 北中学校 大立目 朋	三島市立 南中学校 校長 永田 浩一	三島市立 中郷西中学校 古地 周斗	三島市立 錦田中学校 田畑 研翔
	3 学習評価 単元を通して資質能力を引き出す ための評価の実践	沼津市立 第三中学校 後藤 裕紀	沼津市立 愛鷹中学校 教頭 山田 星治	沼津市立 愛鷹中学校 佐野 啓悟	沼津市立 第五中学校 島田 文乃

静岡県教育研究会理科教育研究部夏季研究大会「静岡大会」(案)

- 1 期 日 令和7年8月6日(水) 午前9時30分から午後3時15分まで
- 2 会 場 全体会会場 静岡駅周辺で検討中
分科会会場 //
- 3 主 催 静岡県教育研究会・同理科教育研究部
- 4 後 援 静岡県教育委員会・静岡市教育委員会(予定)
- 5 研究主題 「夢と感動をもって自然と向き合い、主体的に追求し、科学の世界を広げる理科教育」
- 6 日 程

9:30	9:45	10:00	12:00	13:30	15:00	15:15
受付	全体会	分科会(50分×2)	昼食・休憩	記念講演	閉会行事	

- 7 講 演 演題「 検 討 中 」
講師

8 分科会

分科会		研究テーマ	発表者	助言者	司会者	記録者
小	1	生物と環境				
	2	物質とエネルギー				
	3	地球と宇宙				
中	4	学習指導要領				
	5	観察・実験				
	6	学習評価				

令和5年11月

各都道府県教育委員会教育長 様
各区市町村教育委員会教育長 様
各小中学校長 各位
各教育関係者 各位

全国小学校理科研究協議会
会長 杉山 勇
第57回全国小学校理科研究協議会研究大会
広島大会実行委員長 久保田 健

第57回 全国小学校理科研究協議会研究大会 広島大会（第一次案内）

- ◇ 期 日 令和6年11月21日（木）・22日（金）
- ◇ 会 場 【1日目】JMSアステールプラザ・広島市文化交流会館
【2日目】広島市立観音小学校
広島市立己斐小学校
広島市立八幡東小学校
- ◇ 大会主題 『グローバル社会を生き抜く心豊かな人間を育てる理科教育』
- ◇ 広島大会研究主題
「身の回りの自然の事物・現象に自ら関わり、共に学び、問い続ける子どもの育成」
- ◇ 主 催 全国小学校理科研究協議会
広島県小学校教育研究会理科部会 広島市小学校教育研究会理科部会
- ◇ 後 援 文部科学省 広島県教育委員会 広島市教育委員会
(予定) 全国連合小学校長会 広島県連合小学校長会 広島市小学校長会
広島県小学校教育研究会 広島市小学校教育研究会
- ◇ 参加費・資料代 6,000円

大会実行委員長	広島市立久地南小学校	校長	久保田 健
	広島市安佐北区安佐町くすの木台55番1号	Tel:	082-837-1702 Fax: 082-837-1739
大会事務局長	広島市立比治山小学校	校長	宮本 文雄
	広島市南区上東雲町28番28号	Tel:	082-281-9474 Fax: 082-288-7123

〔1日目〕 令和6年11月21日（木）

理事会・総会・研究全体会（基調提案・指導講話）・記念講演・レセプション
 〈会場〉 理事会・総会・研究全体会：JMSアステールプラザ
 レセプション：広島市文化交流会館

〈時程〉

9:00 9:15 9:45 10:00 12:00 13:00 14:00 15:30 17:00 17:30 19:30

受付	中国 地区 理事会	休憩	全小理 理事会	一般 受付 昼食	総会	研究全体会 ・基調提案 ・指導講話	記念講演	移動 受付	レセプション
----	-----------------	----	------------	----------------	----	-------------------------	------	----------	--------

○ 指導講話：文科省初等中等教育局教育課程課教科調査官 有本 淳 先生

○ 記念講演：コベルコ建機株式会社 演題（未定） 講演者（未定）

〔2日目〕 令和6年11月22日（金）

〈時程〉

8:30 9:00 9:30 10:15 10:30 11:15 11:30 12:30 13:30 15:00 16:30 16:40

受付	オリエン テーション	公開 授業Ⅰ	移動	公開 授業Ⅱ	移動	授 業 分科会	昼食	学年別 分科会	全体会 講評 指導講話	閉会
----	---------------	-----------	----	-----------	----	------------	----	------------	-------------------	----

〈会場校〉

広島市立観音小学校 校長 堀井 俊宏	〒733-0033 広島市西区観音本町二丁目1番26号
研究主題「感嘆符（!）から感嘆符（!!）、そして感嘆符（!!!）へ」 ～思わずしゃべりたくなっちゃう子の育成～	
○指導講話 國學院大學人間開発学部 教授 寺本 貴啓 先生	

広島市立己斐小学校 校長 大上 隆之	〒733-0815 広島市西区己斐上二丁目1番1号
研究主題「自然や他者との関わりを通して、主体的に考える子どもの育成」 ～児童自ら問題を見だし、解決する授業づくりを通して～	
○指導講話 広島大学大学院人間社会科学研究所 准教授 木下 博義 先生	

広島市立八幡東小学校 校長 久保田 祐徳	〒731-5115 広島市佐伯区八幡東四丁目27番1号
研究主題「学ぶことを楽しみ、責任をもって行動する子どもの育成」 ～子どもたちが科学的な問題解決を自覚し、 協働する理科の授業づくりを目指して～	
○指導講話 福島大学人間発達文化学類 准教授 鳴川 哲也 先生	

令和7年度 全小理愛知大会 授業及び学年分科会提案、指導助言 割当一覧(案)

会場	学年	発表者・指導助言者	割当地域区分	司会・記録
名古屋市立 なごや小学校	3年	東京都	東京	愛知県
		三重県	東海・北陸	
	4年	山形県	北海道・東北	
		奈良県	近畿	
	5年	群馬県	関東・甲信越	
		愛知県(尾張)	<開催県>	
	6年	長崎県	九州・沖縄	
		愛知県(三河)	<開催県>	
名古屋市立 瑞穂小学校	3年	千葉県	関東・甲信越	愛知県
		愛知県(尾張)	<開催県>	
	4年	福井県	東海・北陸	
		佐賀県	九州・沖縄	
	5年	東京都	東京	
		愛知県(名古屋)	<開催県>	
	6年	京都府	近畿	
		鳥取県	中国	
名古屋市立 船方小学校	3年	山口県	中国	愛知県
		大阪府	近畿	
	4年	茨城県	関東・甲信越	
		愛知県(三河)	<開催県>	
	5年	北海道	北海道・東北	
		愛媛県	四国	
	6年	静岡県	東海・北陸	
		愛知県(名古屋)	<開催県>	

<全小理3校開催の申し合わせ 発表数24(8×3校)>

- ① 全小理の申し合わせ事項を参考に愛知大会では各地区の発表数を以下のとおりとする。
北海道・東北:2、東京:2、関東・甲信越:3、東海・北陸:3、近畿:3
中国:2、四国:1、九州・沖縄:2、開催県で6
- ② 地区の割り振りは、原則、開催県が決定する。ブロックにより輪番などですでに地区が決定している場合は、事前に申し出ることとする。

	岐阜		福岡		兵庫		香川		神奈川		広島		愛知		千葉		東京		北海道	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10										
北海・東北	⑤福島 ⑥北海道	⑤宮城 ⑥北海道	③北海道 ④北海道 ⑤北海道	③北海道 ⑥青森	⑤岩手 ⑥北海道	③北海道 ⑥秋田	④山形 ⑤北海道													
東京	④東京 ⑤東京	④東京 ⑤東京	④東京 ⑤東京 ⑥東京	③東京 ⑥東京	③東京 ⑤東京	③東京 ⑥東京	③東京 ⑤東京													
関東甲信越	③山梨 ④長野 ⑤千葉	③茨城 ④千葉 ⑤山梨 ⑥長野 ⑥神奈川	③栃木 ④神奈川 ④栃木 ⑤埼玉	③茨城 ④神奈川 ⑤群馬	③山梨 ④埼玉 ⑥千葉	④長野 ⑤栃木 ⑥埼玉	③千葉 ④茨城 ⑤群馬													
東海・北陸	③石川 ④静岡 ⑥福井	③愛知 ④岐阜 ⑤石川	③岐阜 ⑤石川 ⑤愛知	③福井 ④静岡	③富山 ④愛知	④石川 ⑤岐阜	③三重 ④福井 ⑥静岡	③尾張 ④三河 ⑤名古屋 ⑥尾張 ⑥三河 ⑥名古屋												
近畿	③滋賀 ④大阪 ⑤兵庫	④大阪 ④兵庫 ⑥奈良 ⑥京都	③大阪 ④京都 ⑥大阪	④滋賀 ⑤兵庫 ⑥大阪	③兵庫 ⑥大阪	④大阪 ⑤和歌山	③大阪 ④奈良 ⑥京都													
中国	④鳥取	⑤広島	④岡山	③島根	⑤広島	③山口 ④鳥取 ⑤岡山 ⑥島根	③山口 ④鳥取 ⑤岡山 ⑥島根													
四国	③愛媛 ⑥愛媛	④香川	③香川 ④香川	④愛媛 ⑤高知 ⑥徳島	③徳島 ⑥徳島	③高知	⑤愛媛													
九州・沖縄	③福岡 ④鹿児島 ⑥大分	③佐賀 ③大分 ③宮崎 ④沖縄 ⑤鹿嶋 ⑥沖縄	③福岡 ⑤熊本 ⑤福岡 ⑥福岡 ⑥宮崎	④福岡 ⑤大分	④沖縄 ⑤鹿児島	③熊本 ⑥福岡	④佐賀 ⑥長崎													

第71回全国中学校理科教育研究会

第33回関東甲信越地区中学校理科教育研究大会

山梨大会

一次案内

研究主題

理科の見方・考え方を働かせて資質・能力を育み、豊かな未来を切り拓く理科教育

大会主題

自然の事象に関わり、観察や実験、科学的な探究活動を通して、持続可能な未来を創造する力を育む理科教育(案)

開催期日

令和6年8月8日(木)~10日(土)

開催会場

YCC県民文化ホール
山梨県立図書館 他

開催日程

◆ 1日目 8月8日(木) 【会場:ホテル談露館・YCC県民文化ホール・県庁防災新館】

8:30 9:00 10:00 11:20 12:00 14:00 14:30 15:30 17:00 18:30 20:30

受付	役員会	理事会	写真	ブロック会 昼食	一般 受付	開会式	文部科学省講演	レセプション
----	-----	-----	----	-------------	----------	-----	---------	--------

◆ 2日目 8月9日(金) 【会場:県立図書館・YCC県民文化ホール】

8:30 9:00 12:30 14:00 15:30 16:30

受付	分科会	昼食	記念講演	閉会式
----	-----	----	------	-----

◆ 3日目 8月10日(土) エクスカーション 【教育視察】

『自然・科学技術と人間』

ワイン醸造,世界遺産富士山
南アルプスエコパーク,リニア先進技術
水晶,温泉等(企画検討中)



分科会

分科会名	発表担当ブロック
第1分科会【教育課程】	北海道, 関東・甲信越, 中部, 近畿, 九州, 私立・国立等
第2分科会【学習・評価】	東北, 関東・甲信越, 中部, 近畿, 中国・四国, 九州
第3分科会【観察実験】	北海道, 東北, 関東・甲信越, 東京, 中国・四国, 私立・国立等
第4分科会【環境教育】	北海道, 東北, 関東・甲信越, 東京, 近畿, 九州

講演

- ◆ 文部科学省講演
文部科学省 国立政策研究所 学力調査官・教育課程調査官
- ◆ 記念講演 『白ワイン「甲州」と風土を生かしたワイン造り』
中央葡萄酒株式会社 取締役 三澤 彩奈 氏

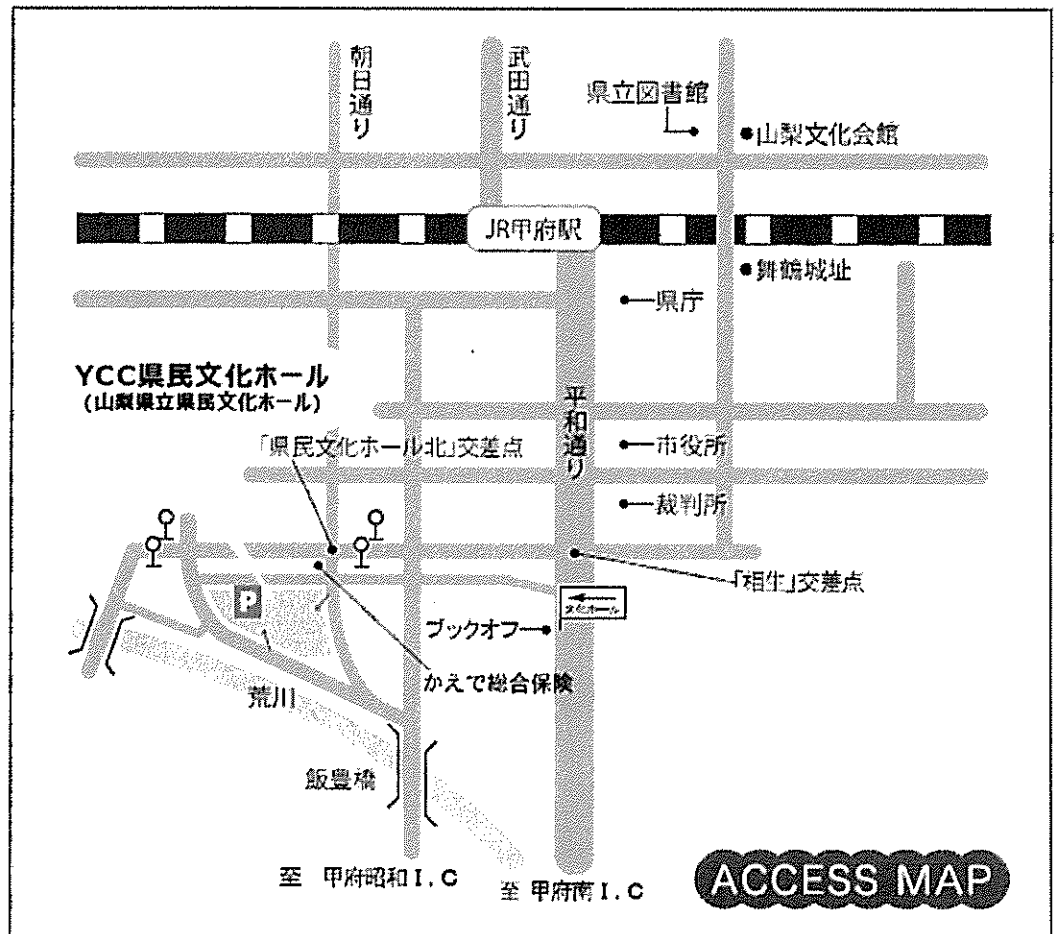
アクセス

【電車】JR甲府駅下車（JR新宿駅から特急で90分程度）※特急あずさ、特急かいじで異なります。JR甲府駅からバス、タクシー、徒歩でお越しください。

【バス】甲府駅南口バスターミナル(1)番のりば、山梨交通バスに乗車「県民文化ホール前」にて下車します。（料金100円）
※(1)番のりばは、一部行き先が異なるバスがありますので、乗車する際に運転手に「県民文化ホール前」停留所を通るかご確認ください。

【タクシー】甲府駅南口タクシー乗り場より約5分（料金おおよそ800円）かかります。

【徒歩】甲府駅南口から徒歩で約20分です。



参加費

大会参加費 5,000円（別途手数料400円かかります）

連絡・問い合わせ

第71回全国中学校理科教育研究会
第33回関東甲信越地区中学校理科教育研究会研究大会 山梨大会

運営委員長 韮崎市立韮崎西中学校長 武持貴英
(takemochi-cllq@es-jhs.kai.ed.jp)

事務局 韮崎市立韮崎西中学校教諭 益田文教
(masuda-zkra@es-jhs.kai.ed.jp)

〒407-0043 山梨県韮崎市神山町鍋山1-1
韮崎市立韮崎西中学校 TEL: 0551-22-1431 FAX: 0551-22-2976



令和6年5月10日

各支部長 様

静教研理科教育研究部長

静教研理科教育研究部発行の表彰状及びメダルの注文について(依頼)

このことについて、下記により注文をとりますので、注文票を提出願います。

記

1 目的

優秀な児童生徒の自由研究論文を称賛するため

2 表彰状およびメダル

○表彰状:(年度未記入)

各校に1枚ずつ無料で発行します。2枚目からは有料(約75円/枚)です。

○メダル:(年度未記入)

有料(約1,000円/個)です。

3 提出

(1) 別紙「注文票(エクセル表)」に無料分と有料分の数量を入力してください。

(2) 事務長(中本裕介:静岡市立観山中学校)にメールで提出してください。

メールアドレス:kanzan-jo@shizuoka.ednet.jp

提出期限は6月10日です。

4 有料分の入金方法

(1) 表彰状の有料分は納品後、金額を確認してから業者の指定口座に振り込んでください。

東海電子印刷(浜松市南区若林町888-122)

電話:053-448-5711 FAX:053-448-5742

(2) メダルは納品後、金額を確認してから業者の指定口座に振り込んでください。

技宝堂(静岡市葵区水落町15-5)

電話:054-245-3651 FAX:054-245-3674

事務長 中本裕介

電話 054-248-0395

R 6：静教研理科教育研究部 表彰状およびメダルの注文票

※表彰状の無料分は、支部内の学校数になります。

※金額は注文数によって変動しますので凡そになります。

支部	表彰状 無料	表彰状 有料75円	表彰状 合計	表彰状 金額	メダル 有料千円	メダル 金額
賀茂	枚	枚	0枚	0円	個	0円
田方	枚	枚	0枚	0円	個	0円
東豆	枚	枚	0枚	0円	個	0円
三島	枚	枚	0枚	0円	個	0円
駿東	枚	枚	0枚	0円	個	0円
沼津	枚	枚	0枚	0円	個	0円
富士	枚	枚	0枚	0円	個	0円
静岡	枚	枚	0枚	0円	個	0円
志太	枚	枚	0枚	0円	個	0円
榛原	枚	枚	0枚	0円	個	0円
小笠	枚	枚	0枚	0円	個	0円
磐周	枚	枚	0枚	0円	個	0円
湖西	枚	枚	0枚	0円	個	0円